

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成27年5月29日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。



熊本県のこどもたち！



～こどもの割合は全国第6位～

今月は、5月5日の「こどもの日」にちなんで、総務省より「我が国のこどもの数」について公表されましたので、こどもの数を中心に見ていきたいと思います。

総務省によると、平成27年4月1日現在のこどもの数(15歳未満人口)は、1617万人と昭和57年から34年連続で減少、こどもの割合も12.7%と昭和50年から41年連続低下し、いずれも過去最低となりました。

なお、熊本県のこどもの割合は、平成26年10月時点で13.6%と全国6位となっています。(表1)

【出典：平成27年5月4日付け総務省報道資料

(表1)

都道府県別こどもの数及び割合(平成26年10月1日現在)

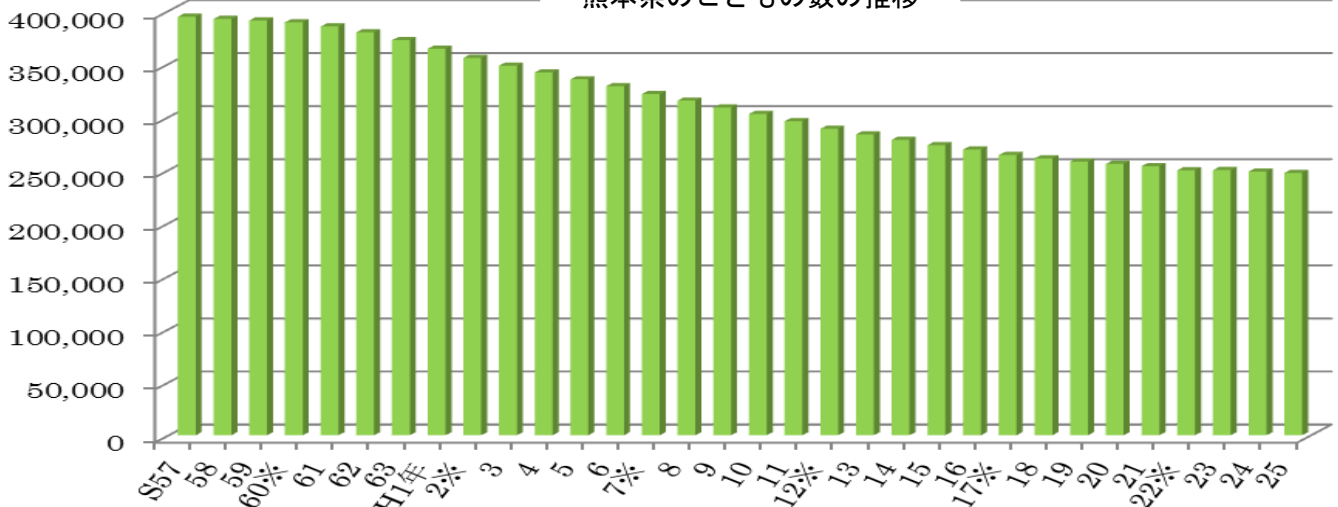
全国順位	都道府県	こどもの数(千人)	割合(%)
第1位	沖縄県	249	17.5
第2位	滋賀県	207	14.6
第3位	佐賀県	118	14.2
第4位	愛知県	1,041	14.0
第5位	宮崎県	153	13.8
第6位	熊本県	244	13.6
第6位	鹿児島県	227	13.6

統計トピクスNo.89「我が国のこどもの数―「こどもの日」にちなんで」(「人口推計」から)】

次に、熊本県のこどもの数の推移(昭和57年以降)について見てみましょう。図1のとおり熊本県のこどもの数は、全国同様、減少傾向にあり、昭和57年の39.4万人から、平成25年には24.7万人となり、37%減少しています。(図1)

(図1)

熊本県のこどもの数の推移



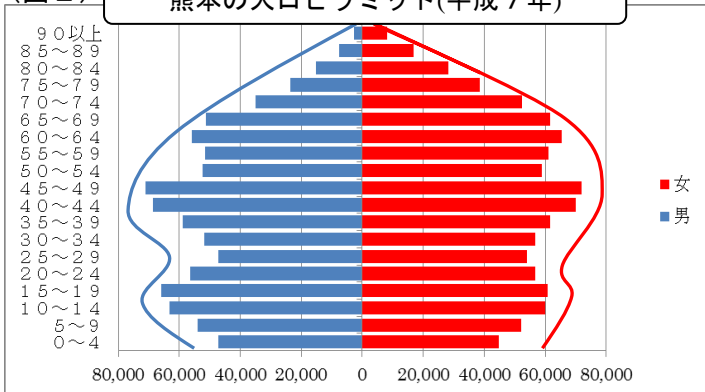
注) ※印は国勢調査の結果(S60、H2、H7、H12、H17、H22)、その他は推計人口

(出典：国勢調査及び熊本県推計人口調査)

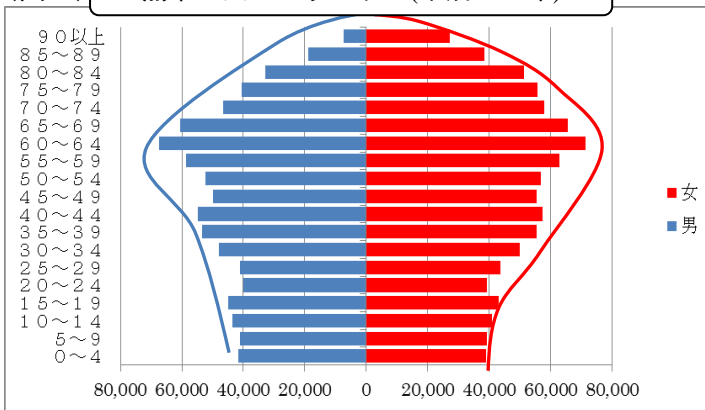
様式

こどもの数が減り続けていることが分かりましたが、今度は将来のこどもの数が気になるころです。そこで、平成7年、平成25年の人口ピラミッドと国立社会保障・人口問題研究所が人口を予測している平成47年の人口ピラミッドで見ていきましょう。

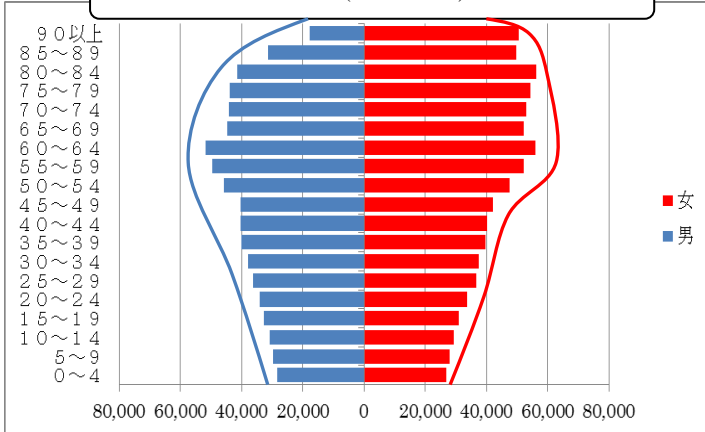
(図2) 熊本の人口ピラミッド(平成7年)



(図3) 熊本の人口ピラミッド(平成25年)



(図4) 熊本の人口ピラミッド(平成47年)の将来推計人口



こどもの数を人口ピラミッドで比較すると平成7年の32万人から平成25年には、24.7万人と減少しています。(図2・図3・図5) さらに、20年後の平成47年の予測人口では、17万人と7万人も少なくなっています。(図4・図5)

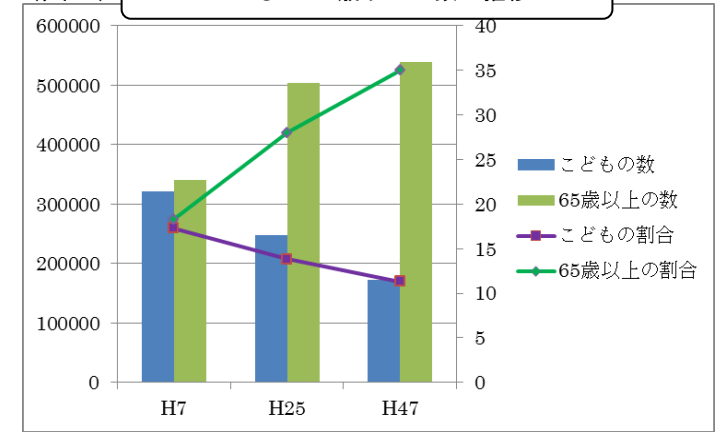
一方で65歳以上は数も割合も、とても増えています。(図5)

この結果、人口ピラミッドの形状は、ひょうたん型から、逆三角形にだんだん近づいていくことが分かります。

今年10月には5年に1度の国勢調査が実施されます。将来人口を見据えるうえでも重要な調査になりますので、御協力をお願いします。



(図5) こどもと65歳以上の数の推移



(出典：国勢調査、推計人口及び日本の地域別将来推計人口(平成25(2013)年3月推計)【国立社会保障・人口問題研究所】)

熊本県の統計情報は

「http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1297」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、6月26日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先：熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話：096-333-2174 / Fax:096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp